
バカカップルの二人

MMR

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカッパルの二人

【Nコード】

N4632I

【作者名】

MMR

【あらすじ】

バカッパルシリーズ第2弾。正式に付き合いはじめた二人のその後はこちらの感じ？

(前書き)

バカップルシリーズということで相変わらず台詞のみ。

一応前作は「バカップル手前の二人(N3139H)」。

「うーん、全然見られないね」

「そうか？ さっきからオレ、何回か見てるけど」

「えっ！ 何で言わないのよ！」

「お前いい加減グーで殴るのをやめろよ……先に見たって言ったらそれこそお前に殴られるだろ」

「そ、そんなこと、ないよ？」

「なんとなく分かりやすいリアクションなんだ……ま、流れ星くらい見られなくてどうもしないだろ」

「せつかく流星群を見るために丘まで登ってきてるのに、見られなかったら悔しいでしょ」

「それだけなのか？」

「それだけよ」

「てつきり願いごとでもするつもりじゃないかって思ってたけど、やっぱりお前はちょっと普通の女とは違うな」

「叩かれないの？」

「殴ってから言うな」

「ま、流れ星が流れている間に三回願いごとをすると叶うなんて、迷信よ迷信。そんなことで叶ったら何の苦勞もしないわよ」

「それはお前らしいけど……あ、また流れた」

「ホントだ！ いつまでも一緒にいられ……あ」

「……………」

「何よ、なんか文句あるの?」

「いや、ツツコむ気にもならないって言うか」

「な、流れ星に願いごとしただけじゃ叶わないってことよ！ 願いごとは私自身で叶えてみせるんだから」

「はあ……ちょっと静かにしようぜ、まわりの迷惑だ」

「えっ、スルー!? そんなの納得でき……んっ!」

「願い、ちょっとだけ叶えてやったから」

「バ、バカ！ これは流れ星のおかげなんかじゃないんだからね!」

「はいはい、わかったわかった」

「絶対分かってない！」

(後書き)

たまたま今日、空を見上げたら花火の玉の一つのような流れ星。そういえば最近、オリオン座流星群というイベントもあったよな。

ということ、流星群というネタをもって、以前「バカップル手前の二人」で登場した二人に再登場いただきました。

相変わらず6000文字ジャスト。ただし今回は「原稿用紙カウンタ」基準。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4632i/>

バカッパルの二人

2011年10月5日16時02分発行